



「課題研究Ⅲ」オーサーシップに関するガイドライン

科学的な研究には、複数の研究者が協力して行う研究が多くあります。本校でもグループで課題研究を行うケースがあります。その場合、もちろん、研究を行うグループメンバー全員がその研究の「著者」（オーサー）となります。成果をまとめたポスターには、全員の氏名を著者として掲載します。しかし、3 年生で一部の生徒が選択科目として履修する「課題研究Ⅲ」はどうか。「課題研究Ⅲ」の研究の多くは、「課題研究Ⅱ」で行った研究を発展・深化させたものです。ですが、「課題研究Ⅱ」で一緒に研究をしていたメンバー全員が 3 年で研究を続けるとは限りません。このような場合の研究のオーサーシップ（＝その研究が誰のものか）に関して、以下に本校の指針を示します。

本校における「課題研究Ⅲ」の研究のオーサーシップは、「課題研究Ⅲ」を履修し、当該研究に従事する生徒のみに与えられる。その元となる「課題研究Ⅱ」の研究に従事した生徒はオーサー（著者）とみなされない。

「課題研究Ⅲ」の研究は、「課題研究Ⅱ」の研究を元に、それをさらに深化させるものです。また、外部機関のコンテストやコンクールに参加するために、新たにポスターを作成したり、論文を執筆したりするのは、「課題研究Ⅲ」を履修している生徒のみです。そのため、「課題研究Ⅲ」のオーサーシップは、「課題研究Ⅲ」を履修し、その研究に従事している生徒のみに与えられるものとします。「課題研究Ⅲ」では、2 年次の研究を確実に発展・深化させるように努めましょう。また、以下を確認してください。

- ・「課題研究Ⅱ」の研究に関しては、参考文献の先頭に記載する。（別紙例を参照）
- ・「課題研究Ⅲ」の研究タイトルは、「課題研究Ⅱ」のそれとは異なるものにする。

ただし、一般的な学術研究の場合の著者は以下の様に定義されており、上記の本校の定義とは異なります。また、学会発表や学会への論文投稿を行う場合は、各学会の指針を確認してください。

学術研究のオーサー（著者）とは・・・

- 1) 研究の構想・デザインやデータの取得・分析・解釈に実質的に寄与している。
- 2) 論文の草稿執筆や重要な専門的内容について重要な校閲を行っている。
- 3) 出版原稿の最終版を確認している。
- 4) 論文の任意の箇所の正確性や誠実さについて疑義が指摘された際、調査が適正に行われ疑義が解決することを保証するため、研究のあらゆる側面について説明できることに同意している。

出典：医学雑誌編集者国際委員会「医学雑誌掲載のための学術研究の実施、報告、編集、および出版に関する勧告」<http://www.icmje.org/>

訳：科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム <https://research-integrity.info/2021ristex/>